

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント (平成27年1月1日現在)

総務省自治行政局住民制度課

はじめに

○調査内容

- ①平成27年1月1日現在の住民基本台帳人口（住民票に記載されている者の数）及び世帯数
- ②平成26年1月1日～12月31日の人口動態（住民票の記載及び消除の数）

○対象 ①日本人住民 ②外国人住民 ③総計(①日本人住民+②外国人住民)

<用語の説明>

人口・世帯数における 「本年」…「平成27年1月1日」

「前年」…「平成26年1月1日」

人口動態における 「本年」…「平成26年1月1日～同年12月31日」

「前年」…「平成25年1月1日～同年12月31日」

全国の人口

○全国の人口

()は対前年増減数・率

総計	日本人住民	外国人住民
1億2,822万6,483人 (△21万1,530人、△0.16%)	1億2,616万3,576人 (△27万1,058人、△0.21%)	206万2,907人 (+5万9,528人、+2.97%)

※外国人住民の割合は1.61%

○人口

- * 日本人住民の人口は、平成21年をピークに6年連続で減少
現行調査開始（昭和43年）以降最大の減少数
 - ・ 現行調査開始（昭和43年）以降、平成18年に初めて減少し、平成20年、21年と増加したが、平成22年から6年連続で減少
- * 外国人住民の人口は、前年より増加。対前年で2.97%増と高い伸び

○自然増減数

- * 日本人住民の自然増減数は、△26万6,757人。
自然減少数が8年連続拡大し、調査開始（昭和54年度）以降最大
 - ・ 調査開始（昭和54年度）以降、自然増加数が縮小傾向。平成17年度には自然減少に転じた。平成19年度以降8年連続で自然減少数が拡大
- * 外国人住民は、+7,795人。自然増加数が拡大

○出生者数

- * 日本人住民は、100万3,554人。調査開始（昭和54年度）以降最少
 - ・ 減少傾向にあり、前年は微増したが、本年は減少
- * 外国人住民は、1万4,449人。前年より増加

○死亡者数

- * 日本人住民は、127万311人。調査開始（昭和54年度）以降最多
 - ・ 増加傾向にあり、11年連続増加後、24年度は減少したが、本年は2年連続の増加
- * 外国人住民は、6,654人。前年より減少

○社会増減数（転入者数、転出者数等）

- * 日本人住民の転入者数は506万3,791人、転出者数は510万2,734人
転入者数・転出者数ともに調査開始（昭和54年度）以降最少
- * 外国人住民の社会増減数は+5万1,733人。社会減少から社会増加に転じた

都道府県の人口

○人口1位	総計	日本人住民	外国人住民
	東京都(1,329万7,585人)	東京都(1,288万143人)	東京都(41万7,442人)

※総計に占める外国人住民の割合が最も大きいのは東京都(3.14%)

○人口増加、自然増加、社会増加 ()は平成26年中増減数・率

		日本人住民	外国人住民
人口増加数	増加団体	6団体	39団体
	1位	東京都(+7万2,516人)	東京都(+2万3,032人)
人口増加率	1位	東京都(+0.57%)	沖縄県(+10.26%)

※平成23年～平成27年の対平成22年人口増加率(日本人住民)について、平成27年でプラスとなっているのは7団体

自然増加数	増加団体	3団体	36団体
	1位	沖縄県(+5,063人)	東京都(+1,936人)
自然増加率	1位	沖縄県(+0.35%)	群馬県(+0.96%)

※直近5年連続で自然増加(日本人住民)の団体は3団体

社会増加数	増加団体	8団体	38団体
	1位	東京都(+7万2,663人)	東京都(+2万1,096人)
社会増加率	1位	東京都(+0.57%)	沖縄県(+9.91%)

※直近5年連続で社会増加(日本人住民)の団体は6団体

市区町村の人口

○人口 日本人住民：市区部・町村部ともに減少 外国人住民：市区部・町村部ともに増加 ()は対前年増減数・率 < >は構成比

	市区部	町村部
総計	1億1,683万1,936人(△9万6,777人) <91.1%> (△0.08%)	1,139万4,547人(△11万4,753人) <8.9%> (△1.00%)
日本人住民	1億1,487万632人(△15万4,091人) <91.0%> (△0.13%)	1,129万2,944人(△11万6,967人) <9.0%> (△1.03%)
外国人住民	196万1,304人(+5万7,314人) <95.1%> (+3.01%)	10万1,603人(+2,214人) <4.9%> (+2.23%)

○市区町村の人口割合【総計】 市84% 区7% 町8% 村1%

○人口1位		市区部	町村部
	総計	横浜市(372万2,250人)	広島県府中町(5万1,961人)
	日本人住民	横浜市(364万4,429人)	宮城県富谷町(5万1,702人)
	外国人住民	大阪市(11万6,895人)	群馬県大泉町(6,377人)

○大都市

総計	100万人都市は11市(横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市、神戸市、福岡市、川崎市、京都市、さいたま市、広島市、仙台市)
日本人住民	同上
外国人住民	10万人を超える市区は大阪市のみ

市区町村の人口(続き)

○人口増加率、自然増加率、社会増加率

	日本人住民		外国人住民	
	市区部	町村部	市区部	町村部
人口増加率	△0.15% 77%がマイナス団体	△0.87% 88%がマイナス団体	+3.00% 65%がプラス団体	+2.34% 57%※がプラス団体
自然増加率	△0.18% 82%がマイナス団体	△0.56% 90%がマイナス団体	+0.39% 54%がプラス団体	+0.30% 58%※がプラス団体
社会増加率	+0.03% 73%がマイナス団体だが プラス団体の影響でプラス化	△0.31% 77%がマイナス団体	+2.61% 63%がプラス団体	+2.04% 58%※がプラス団体 ※ゼロ団体除きの割合

- (参考) ・平成26年中の出生者数【総計】が10人未満の団体は、77団体
 ・平成26年中の外国人住民の人口増加数の多い10団体は、首都圏の都市部に集中しており、外国人住民の人口増加数が総計の5割前後にのぼる団体が多く、また、その団体数も平成25年中に比べ増えている。

○【総計】人口増加、自然増加、社会増加の1位

	市区部	町村部
人口増加数	福岡市 (+1万1,988人)	福岡県新宮町 (+1,380人)
人口増加率	千代田区 (+5.01%)	鹿児島県三島村 (+5.34%)
自然増加数	川崎市 (+4,211人)	福岡県粕屋町 (+405人)
自然増加率	豊見城市 (+0.85%)	東京都御蔵島村 (+1.27%)
社会増加数	札幌市 (+8,580人)	福岡県新宮町 (+1,175人)
社会増加率	千代田区 (+4.58%)	鹿児島県三島村 (+6.74%)

○【日本人住民】人口増加、自然増加、社会増加の1位

	市区部	町村部
人口増加数	福岡市 (+1万788人)	福岡県新宮町 (+1,369人)
人口増加率	千代田区 (+5.20%)	鹿児島県三島村 (+5.34%)
自然増加数	川崎市 (+4,008人)	福岡県粕屋町 (+400人)
自然増加率	豊見城市 (+0.85%)	東京都御蔵島村 (+1.27%)
社会増加数	札幌市 (+8,324人)	福岡県新宮町 (+1,165人)
社会増加率	千代田区 (+4.75%)	鹿児島県三島村 (+6.74%)

○【外国人住民】人口増加、自然増加、社会増加の1位

	市区部	町村部
人口増加数	横浜市 (+2,538人)	群馬県大泉町 (+327人)
人口増加率	いちき串木野市 (+53.57%)	愛媛県松野町 (+147.37%)
自然増加数	横浜市 (+477人)	群馬県大泉町 (+75人)
自然増加率	名寄市 (+3.13%)	沖縄県宜野座村 (+4.55%)
社会増加数	横浜市 (+2,061人)	群馬県大泉町 (+252人)
社会増加率	いちき串木野市 (+53.57%)	愛媛県松野町 (+147.37%)

三大都市圏(東京圏、名古屋圏、関西圏)の人口

- 三大都市圏の人口
 - ・日本人住民の人口は、6,443万5,084人で、過去最高を更新
人口割合は、51.07%で、9年連続で全国人口の半数を上回る
 - ・外国人住民の人口は、145万7,984人で、昨年より増加
人口割合は、70.68%で、昨年に引き続き全国人口の7割を上回る

年齢階級別人口

- 日本人住民の年少人口は、調査開始(平成6年)以降毎年減少
生産年齢人口は、平成7年を除き、調査開始(平成6年)以降毎年減少
老年人口は、調査開始(平成6年)以降毎年増加。初めて年少人口の2倍以上に
- 日本人住民の年少人口・生産年齢人口の割合は、調査開始(平成6年)以降毎年減少
老年人口の割合は、調査開始(平成6年)以降毎年増加

	日本人住民	外国人住民
年少人口(0~14歳)	12.93%(調査開始以降毎年減少)	8.83%
生産年齢人口(15~64歳)	61.17%(調査開始以降毎年減少)	84.19%
老年人口(65歳~)	25.90%(調査開始以降毎年増加)	6.98%

- 参考 18歳及び19歳の日本人住民の人口は、全国で239万2,582人
(18歳以上の日本人住民の人口は、全国で1億628万660人)

- 【日本人住民】年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合の1位

	市区部	町村部
年少人口割合	豊見城市 (20.38%)	三重県朝日町 (21.90%)
生産年齢人口割合	中央区 (71.00%)	東京都青ヶ島村 (70.91%)
老年人口割合	夕張市 (47.72%)	群馬県南牧村 (58.36%)

世帯数

- 全国の世帯数は、現行調査開始(昭和43年)以降毎年増加(日本人住民・複数国籍の世帯)
- 1世帯の平均構成人員は、現行調査開始(昭和43年)以降毎年減少(日本人住民・複数国籍の世帯)

()は対前年増加数・率

	世帯数	1世帯平均構成人員
総計	5,641万2,140世帯(+45万9,882世帯、+0.82%)	2.27人(△0.03人)
日本人住民及び 複数国籍の世帯	5,536万4,197世帯(+41万2,191世帯、+0.75%)	2.28人(△0.02人)
外国人住民の世帯	104万7,943世帯(+4万7,691世帯、+4.77%)	1.97人(△0.03人)

- 集計結果は「e-Stat(政府統計の総合窓口)」に掲載(平成27年7月1日17時以降掲載)
 <掲載ページへのアクセス方法>
 ・検索サイトで「住基人口 e-Stat」で検索